

□ 伝える

かやの実 34年の歴史

- どの部屋からも見える園庭
…園庭を囲んだ視線のつながり
- スキップフロアで自由な採光
…園庭を囲んだテラスで空間と光を演出
- わらべうた、和太鼓、遊びの空間
…文化を伝承する開放的空間
- 地域とのつながり
…「やまびこ」で拡がる地域の輪
- 伝統と実績の給食
…伝統に加え地域性を加味した給食
- 雨の日も遊べる砂場
…オーニングのあるウッドデッキ
- あそびの空間「スロープ」
…「階段と回廊」であそびの空間を演出
- 園庭の岩で立体的なあそびの空間
…園庭のクライミングウォールへ
- 電子認証セキュリティ
…全ての外門扉が認証セキュリティロック
- 花のある保育園
…花で囲まれた玄関周囲

新たな空間と設備

- あそびの空間
…屋上はあそびの広場
- やさしい
…無垢の木材、自然塗料、漆喰仕上げの壁
ドライミスト、オゾン
- あたたかい
…無垢板の床材+夜間電力使用の床暖房
- たのしい
2歳から幼児まで全ての部屋が一体
園庭のピオトープ
- 安心
…段差無しのバリアフリーと
エレベーター
- エコ
…太陽光・風力発電、雨水の再利用
調光つきのHf蛍光灯とLED照明

新しくなった「なつかしい居場所」

あたたかい やさしい たのしい

かやの実 保育園



2011.5.7

木と漆喰の あたたかい感触



回 ウッドデッキ
一階と二階は、園庭を囲むように木のぬくもりを感じるウッドデッキのテラスにしました。材質は、東アフリカ原産のアフゼリア。トゲがでにくく、自然木で唯一幼児が素足で歩けるデッキ素材です。アフゼリアは、温泉やプールサイド、海岸のデッキなどに使用されています。



回 室内環境

園内のフローリングは木目の美しいシバクリの無垢材。腰板は檜の無垢材。部屋の壁は漆喰仕上げにしています。室内は、お子さんの成長に相応しい空間として、全体を極力人工素材を使わず、暖かみがあり体に優しい天然素材の内装にこだわりました。調光式の蛍光管とLED、加えて、天上に組み込まれたオゾン発生装置により、園内環境を健康で快適に維持します。

生活空間

2さい



回 2歳児の部屋
2階の南東側にある2歳児の部屋「うさぎ」。ドライミスト付きの専用ウッドデッキで夏でも快適に生活でき、ここから青梅線の往来を見て楽しめます。
また、室内では階段広場、3・4・5歳児室まで見渡せる空間が広がり、2歳・階段・幼児の視線のつながりが特徴です。



回 2歳児専用テラス
2歳児クラスの前には2歳児専用のテラスがウッドデッキになって幼児室へ連なっています。デッキの園庭側は幼児クラスのオレンジの列柱のある回廊になっていきます。この通路を通じて幼児との交流もできます。

2かい



回 1歳児の部屋
一階の南東側にある1歳児の部屋「りす」。室内では畳スペースで、南西面には0・1歳共用のウッドデッキで0歳児と交流できます。北西面には園庭に面したウッドデッキがあり、かやの実カラーであるオレンジ色の列柱とオーニングの広場になっており、幼児との交流も楽しめます。

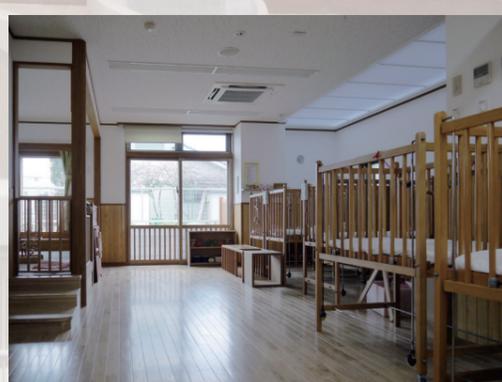


回 園庭
旧園舎の特徴の一つが雨天でも遊べる広い砂場。今回は砂場も小さくなり、雨の日は遊べなくなりました。そのかわり、砂場の中にはシンボルツリーのかやの木があり、砂場を囲むように二階建ての鶏小屋とビオトープ、畑があります。鶏小屋には園長宅に引越していた烏骨鶏の「うめこ」と「プリン」も戻ってきました。



回 階段広場

旧園舎の自慢が玄関から二階へ連なるスロープ。車いすや松葉杖でも二階へ移動できるほか、乳児の運動場としても、展示スペースとしても活躍しました。
残念ながら、今回は東京都の条例でスロープは許可になりませんでした。そのかわり、新たに階段広場をデザインし、円形の空間と、外のウッドデッキの回廊に連ねて幼児や2歳児のクラスと交流できる楽しいスペースにしました。



回 0歳児の部屋
一階の南西側にある0歳児の部屋「ひよこ」。西側の面に窓がない分、天上に大きな採光を設け、電動ブラインドとルーバーにより光を演出します。1歳児クラスとは畳スペースとウッドデッキで交流できます。

環境にやさしい



回 風力発電

地球環境に対する関心が高まる
 昨今、環境教育の教材として風力
 発電への期待が高まっています。
 かやの実保育園では、風力発電
 による省エネ、非常時電源として
 だけでなく、風と太陽の自然の営
 みを体感することによる体験教育
 としても活用します。

なお、風力発電のデータは、グ
 リーン電力基金の研究用データ収
 集に活用され、今後の自然エネル
 ギー利用拡大に活かされます。

回 太陽光発電

太陽光発電は発電時にCO2を
 発生させないクリーンなシステム
 です。太陽光発電を導入する事
 業所が増えれば増えるほど、CO2
 排出量の抑制にも役立ち、地球環
 境保護に大きく貢献します。

かやの実保育園の玄関に設置し
 たモニターに、随時CO2の削減
 量が表示されます。

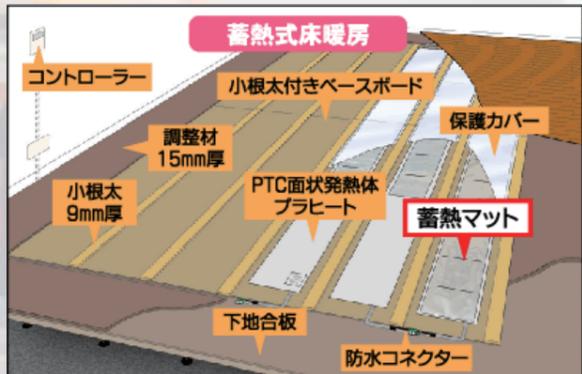
なお、太陽光発電のデータは、
 グリーン電力基金の研究用データ
 収集に活用され、今後の自然エネ
 ルギー利用拡大に活かされます。



回 夜間電力利用蓄熱式床暖房

蓄熱式電気床暖房は、夜間に割
 安な電力を使用し、夜間に蓄積さ
 れた熱を翌日使って暖房するもの
 です。床暖房は、快適な「頭寒足
 熱」暖房です。しかも広いスペー
 スや吹き抜け構造でも室
 内をまんべんなく暖めま
 す。温風や熱気に体がさ
 らされる不快感がありま
 せん。

また、燃焼燃料や火気
 を使用しないため、火災
 や酸欠、二酸化炭素、ガ
 ス中毒など発生せず、高
 い安全性を誇ります。ま
 た、排気ガスがないので、
 衛生的。乾燥もなく、室
 内を快適に保ちます。

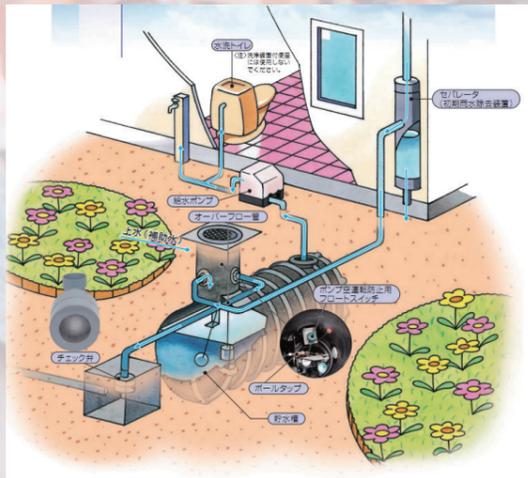


回 雨水の再利用

雨は、日本の場合どこでも降り
 ますし、なくなることがない資源
 です。最近では集中的に大量の降
 水があり、下水道への負担も大き
 くなります。この雨水を地下タン
 クに一時的に貯蔵し、後日雑用水
 として利用します。

羽村でも夏期は水不足で市役所
 から節水のお願いなど、地域で節
 水に努力しています。雨水も貴重
 な水資源、再利用することで水資
 源の大切さを子どもたちが考える
 機会にもなります。

地下タンクに貯蔵された雨水
 は、花壇、畑、ビオトープ、園庭
 の散水などに利用されます。また、
 非常時、災害時にも雑用水として
 活用します。



回 ドライミスト

ドライミストは、水を微細な霧
 の状態にして噴射し、蒸発する際
 の気化熱の吸収を利用して主に地
 上の局所を冷却する装置です。水
 の粒子が小さいため素早く蒸発
 せん。

ドライミストは周辺の気温を2
 から3度下げることができ、必要
 なエネルギー消費は家庭用のエア
 コンの約1/20ともいわれています。
 最近では家庭、オフィスビル、
 学校などの建築物の他、アーケード
 や広場などにも設置されて、省
 エネと快適空間の創出の両立を
 目的で利用されています。

かやの実保育園では、2歳児室
 の前からオレンジ色の列柱の回廊
 を経て「くるみ」にいたる二階の
 デッキをぐるっと囲んでノズルを
 設置し、エアコンの使用量を軽減
 し、かつ夏期の活動を快適にする
 よう工夫しています。

たのしい ごあん



1かい

回 やまびこ

地域支援事業、わらべうたと遊
 びの広場「花いちもんめ」の他、
 太鼓サークルなど、様々な事業を
 行う多目的ホールです。玄関ホー
 ル、厨房と一体となった空間とし
 て、様々な行事やイベントにも活
 用できます。



回 3・4・5歳児の部屋

廊下、階段スペースを含め、全
 体が幼児のためのオープンな広い
 空間となっています。これは、仮
 設園舎の幼児保育室のコンセプト
 に近い物ですが、空間のバリエー
 ションが増え、工夫により空間の
 楽しさが演出できるようになり、
 保育者のアイデアと能力が十分に
 発揮できる空間です。



回 くるみ

絵を描いたり、工作や物を作っ
 たり、幼児のための多目的スペー
 スです。

誕生会などの行事やわらべう
 た、美術指導など、たのしいこと
 がいっぱい。部屋を囲むように収
 納スペースがあり、その扉はマグ
 ネットホワイトボードになってい
 て、様々な展示や水性マジックで
 落書きもできます。



回 園庭のクライミングウォール

園庭に、幼児用に設計されたク
 ライミングウォールを設置しまし
 た。各部位により難易度に差をつ
 け、幅広い年齢で楽しめるよう設
 計されています。子ども達の技術
 が向上すればさらに難易度を上げ
 することも可能です。



これまでかやの実保育園のチャ
 レンジ精神のシンボルであった
 「岩」にかわり、子ども達の新た
 なチャレンジ精神をほぐくみま
 す。

回 ウッドデッキのテラス

園庭を囲むよう
 に、一階にも二階に
 もウッドデッキのテ
 ラスがあります。一
 階は1歳児室から階
 段ホールの前を通っ
 て玄関ホールに続
 き、階段を上って幼児室、二階の
 階段ホールの前を通って2歳児室
 に続き、各年齢を繋いだ楽しい遊
 びのスペースとなっています。



回 屋上

テニスコート、プールサイド、
 競技場や学校のグラウンドなどで
 使用される透水性ゴムチップを敷
 き詰め、裸足で遊べるグ
 ランドになっています。
 ここにはプールや大型
 遊具を設置して幼児が楽
 しく遊べる空間にしま
 す。また、一階や二階の
 ウッドデッキのテラスと
 一体の空間として、立
 体的に楽しめます。

回 基本設計コンセプト

引き継がれるかやの実の伝統
そして、新たに!

・安全・安心のスペース

- バリアフリー
- 耐震・耐火・防災
- 豊かな保育空間
- 一体となった保育室と給食室

・「まち」とともにある保育園

- 地域に開かれたスペース
- 環境に優しいエコシステム



1977.1.1~2010.5.31

回 園舎の概要

敷地面積 789.00㎡
延床面積 856.73㎡
定員 0歳12名, 1歳18名
2歳以上各20名, 計110名

・設計施工

設計監理 株式会社象地域設計
建築施工 石川建設株式会社

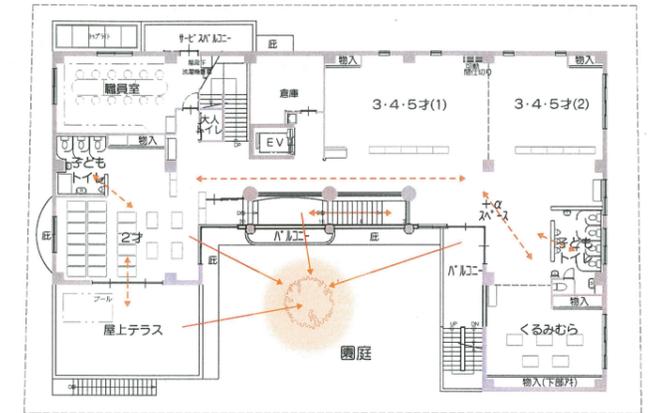
・費用

設計監理 20,601千円
建築施工 228,879千円
※: 仮園舎関連・諸経費と児童用
椅子・机・遊具は含まない。
整備総額 約327,685千円

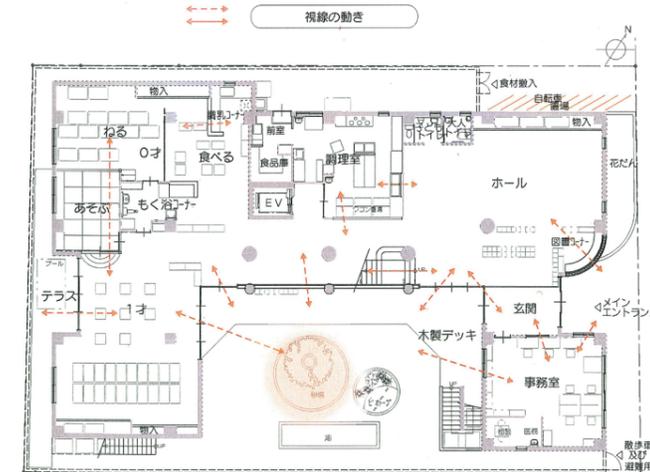


2011.4.1~

■ 視線のつながり

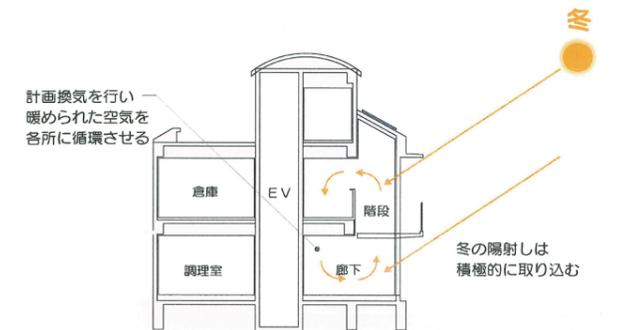


●2階平面図(1/200)

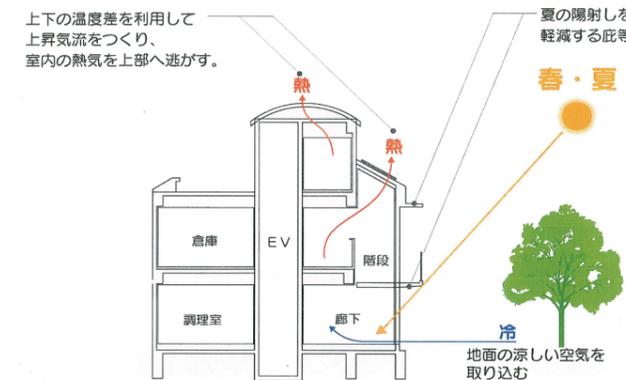


●1階平面図(1/200)

■ 園内の空気の動き



=省エネの工夫=
・パッシブソーラーの概念。自然の光を積極的に利用する。



=省エネの工夫=
・中間期の通風を活かした環境づくり
・夏期夜間、曇間に蓄熱された熱気を大気へ放出する。